

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------------|----|-----------------|
| ○事業所名 | スポーツとまなびのひろばSAIYO | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和 7年 11月 17日 | | ～ 令和 7年 12月 27日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 45 | (回答者数) 35 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和 8年 1月 12日 | | ～ 令和 8年 1月 24日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 10 | (回答者数) 8 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和 8年 1月 31日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 遊びや活動の中で子ども達が自分を表現して自信をつける場になっている。 | <ul style="list-style-type: none"> 子ども達が活動や遊びの中で前が出る、発言できる場を設けている。 気づいたことはその都度毎日のミーティングで、子ども達の自主的な行動を促すことができるよう話し合いを持っている。 | <ul style="list-style-type: none"> 今までの取り組みを継続して行っていく。 毎日のミーティングだけでなく、気づいた時に職員同士で情報交換し、共通認識を持っていく。 |
| 2 | 法人内の事業所と療育内容を検討、実施、振り返りを行っている | <ul style="list-style-type: none"> 週1回の法人内の事業所がWEBミーティングで療育について情報共有や情報交換をしている。 ミーティングで振り返りも行い、質問、意見が出しやすい関係を作っている | <ul style="list-style-type: none"> 法人内の相談、報告の体制を充実できるよう、積極的にWEBミーティングで発言していく。また、職員のスキルアップにつながる社外研修にも積極的に参加していく。 |
| 3 | 職員が保護者や子どもの不安や悩みを受け止め、一緒に考えることができている。 | <ul style="list-style-type: none"> 心理担当職員を中心に保護者支援を行っている。 送迎時や連絡帳にて保護者によかったこと、今までと違った変化、その日のことを報告している。 療育の中で子ども達の思いを聞き、一緒に対処を考えている。 保護者の思いを職員間でその都度共有している。 | <ul style="list-style-type: none"> 保護者や子ども達の思いを受け止め、一緒に考え、取り組む姿勢を継続していきます。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 学校との連携が広がっていない | <ul style="list-style-type: none"> 学校のことを知らない職員がいる 学校での子どもの姿を知る機会が持てていない。 | <ul style="list-style-type: none"> 職員の経験をいかしてつながりが持てる場を持つ。 オープンスクール、運動会、音楽会などの学校行事への参加をしていく。 |
| 2 | 職員への情報共有や周知が十分ではない | <ul style="list-style-type: none"> 職員の入れ替わりがあったことと曜日ごとに非常勤職員が入れ替わるので、どこまで伝えたかわからなくなってしまう。 | <ul style="list-style-type: none"> 毎日のミーティングだけでなく、情報伝達ツールの活用を検討する。 |
| 3 | 子ども達の療育中の様子を知りたい保護者への発信が十分ではない | <ul style="list-style-type: none"> まなびっ子通信の発行が不定期になっている。 連絡帳や送迎時に伝えているが、写真や動画を使っていないので、イメージが持ちにくい。 | <ul style="list-style-type: none"> 継続して、定期的にできる情報発信の仕方や職員の役割分担の見直しをしていく。 SNSによる発信も可能な範囲で行い、情報発信していることの周知も同時に行っていく。 |